

課題名	前庭性片頭痛の臨床的特徴と片頭痛予防薬を含めた薬剤の治療効果の検討
承認番号	2022-28 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 めまい平衡神経科 氏名 新井 基洋
研究期間	(西暦) 2022 年 11 月 ~ (西暦) 2023 年 9 月
研究の意義・目的	めまいを主訴に来院する患者さんの中には片頭痛を有する症例が認められます。前庭性片頭痛の臨床的特徴、治療など不明確な点が多いので、前庭性片頭痛の診断基準を用いて、前庭性片頭痛確実例のめまいと頭痛の臨床症状の特徴をまとめます。片頭痛予防の薬物治療結果を併せて検討します。
研究の方法 (対象期間含む)	<p>下記の患者さんを対象に研究を行います。</p> <p>対象：</p> <p>2020年3月～2022年9月にめまい外来に受診した前庭性片頭痛と診断された患者さんおよびその疑いと診断された患者さんのうち、当院における3か月以上の前庭性片頭痛治療を受けた患者さん</p> <p>方法：過去の診療録より研究に必要な下記の検討項目を抽出し、データを解析してめまいと頭痛の臨床症状の特徴をまとめます。さらに、片頭痛予防の薬物治療結果を併せて検討します。</p> <p>【検討項目】</p> <p>1) めまい</p> <p>(1) 問診 (めまい発症年齢、めまいの種類と持続時間) 及び CCD カメラでの眼振検査</p> <p>(2) Dizziness Handicap Inventory (以下 DHI) : めまい患者さんの総合的な重症度を心身両面から測る評価尺度</p> <p>(3) 重心動揺検査の結果</p> <p>2) 片頭痛</p> <p>(1) 頭痛の項目は以下を検討します。</p> <p>①男女差、②頭痛発症年齢、③家族歴 (遺伝の有無)、④中等度と重度頭痛の割合、⑤緊張型頭痛の合併の有無、⑥前兆の有無と割合、⑦光過敏合併、⑧音過敏合併、⑨におい過敏合併の有無</p> <p>(2) Headache Impact Test-6 (以下 HIT-6) : 簡便な自記検査で、頭痛の強度、仕事の損失、レクリエーション活動、疲労、気分の変調、認知力の6項目を5つのポイントで評価</p> <p>3) 片頭痛とめまいの関係。</p> <p>①めまいと頭痛の関連性 (リンク) の有無</p> <p>②めまいと頭痛の発症時期が同時か、めまいが先か、頭痛が先か、不明なのかを問診し、各例数を調べます。</p>

<p>試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)</p>	<p>本研究で得られたデータは本研究の目的に利用します。診療録から抽出したデータは個人が特定できないように匿名化を行い、研究用の番号にて管理します。また、データを二次利用する可能性もありますが、その際は改めて倫理委員会に申請し承認された場合に利用します。データの利用目的は今後の日常診療における患者さんの治療効果判定を第一とし、併せてめまい学会での発表、さらに論文化して発表することです。</p>
<p>利用又は提供する 資料・情報の項目</p>	<p>カルテに記載されている診察情報、具体的には上記「研究の方法」に記載の【検討項目】になります。</p>
<p>試料・情報を 利用する者の範囲</p>	<p>横浜市立みなと赤十字病院 めまい平衡神経科 新井基洋</p>
<p>試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)</p>	<p>横浜市立みなと赤十字病院 めまい平衡神経科 新井基洋</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 めまい平衡神経科 氏名 新井基洋 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) /FAX:045-628-6101</p>